



第54期 事業報告書  
平成16年3月1日～平成17年2月28日

海底から宇宙まで

**FURUNO**

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のことと拝察申し上げます。

当社の第54期連結会計年度（平成16年3月1日から平成17年2月28日まで）が終了いたしましたので、ここにその事業概要についてご報告申し上げます。

### （事業概況について）

当連結会計年度における我が国経済は、輸出や設備投資が増加し回復基調が見えたものの、年後半にやや減速感がでてきました。米国経済は、一時的に原油高や金利上昇等により減速傾向を示しましたが、個人消費が堅調さを取り戻し、景気の拡大が見られました。欧州経済はユーロ高の影響もあり停滞気味に推移しました。また、アジア経済は、中国をはじめ主要国で引き続き高い成長を記録しました。

こうした経済情勢のもと、当社グループの主力市場である船用電子機器の分野では、商船市場が引き続き国内外ともに大きく伸びたことに加え、プレジャー市場で米国の需要が持続したことなどにより、拡大基調を維持しました。一方、産業用電子機器の分野では、ETC車載器、GPS関連商品、医療用機器のいずれも需要の拡大傾向が続きました。

このような中、当社グループは、新製品の開発、全社的なコストダウン、販売・サービス体制の強化を積極的に進め、船用電子機器分野での売上、シェアの拡大に努めると同時に、産業用電子機器分野においても売上の拡大に鋭意努力を重ねてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、

売上高	774億4千4百万円（前年同期比12.8%増）
経常利益	46億9千5百万円（同8.4%増）
当期純利益	36億1千2百万円（同7.0%増）となりました。

なお、単体では、

売上高	614億2千9百万円（前年同期比13.9%増）
経常利益	26億4千7百万円（同32.0%増）
当期純利益	18億6千4百万円（同49.6%増）となりました。

今後の当社グループの主力市場である船用電子機器業界を取り巻く環境は、漁船市場の縮小、競合他社との競争の激化が一層進むなど、引き続き厳しい状況にあります。このような状況にあつて、新製品開発、コストの削減、販売サービス網の強化、業務効率の向上に注力し、競争力を高め、売上、利益の拡大を進めていく方針であります。特に、数年先まで大量に新船建造が見込まれる商船市場に対し、販売活動を強力に推し進めるとともに、新たに立ち上げた中国での生産工場を活用し一層のコスト削減に努め、船用電子機器の総合トップメーカーとしての地位をより確固たるものとすべく邁進してまいります。

産業用電子機器分野につきましては、ETC車載器、GPS関連商品、医療用機器などの売上をより一層伸ばしていくと同時に、更なる収益面での改善を図るべく、コスト削減、商品の品揃え、技術開発、海外での販売展開を積極的に推し進めていく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年5月



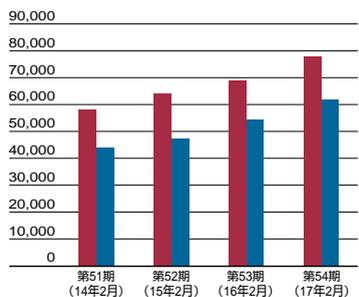
代表取締役社長

古野清之

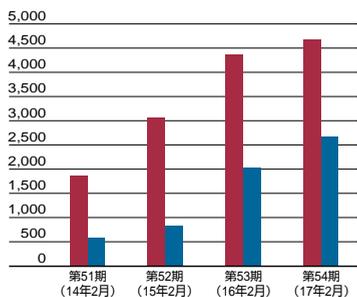
# 業績ハイライト

連結 ■  
単体 ■

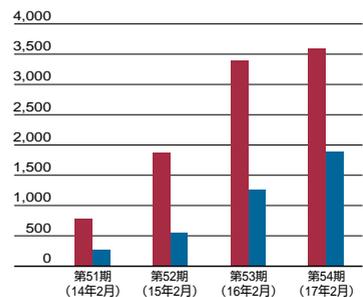
売上高 単位:百万円



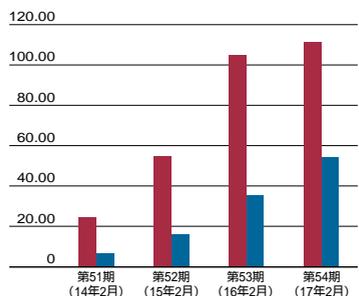
経常利益 単位:百万円



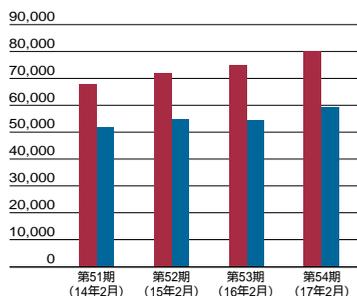
当期純利益 単位:百万円



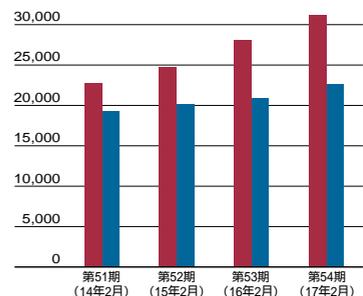
1株当たり当期純利益 単位:円



総資産 単位:百万円



株主資本 単位:百万円



		第51期 (14年2月)	第52期 (15年2月)	第53期 (16年2月)	第54期 (17年2月)
売上高	連結	58,074	64,043	68,628	77,444
	単体	43,844	47,665	53,929	61,429
経常利益	連結	1,864	3,020	4,332	4,695
	単体	556	816	2,006	2,647
当期純利益	連結	768	1,862	3,374	3,612
	単体	237	535	1,246	1,864
1株当たり当期純利益 (円)	連結	24.10	58.64	104.19	111.31
	単体	7.43	16.87	37.50	56.88
総資産	連結	68,024	71,955	75,436	79,849
	単体	52,027	53,940	54,447	59,237
株主資本	連結	23,564	25,295	28,492	32,055
	単体	19,905	20,211	21,583	23,236

## 事業報告

### 船用電子機器部門

#### 事業概況

国内においては、漁業資源の枯渇、魚価安、輸入魚の増大などの要因により、漁船市場は厳しい状況が続きましたが、外航船の建造ブームに支えられた商船市場が引き続き大きく伸びたことから、売上は前年度を上回りました。

一方、海外においては、漁船市場では低迷が続きましたが、商船市場では、韓国や中国での新船建造による拡大が続く中、VDR（航海情報記録装置）やSSAS（船舶警報通報装置）などの制度需要もあり、大幅な伸びを示しました。また、プレジャー市場でもNAVnet機器（航法装置や魚群探知機をネットワーク接続したシステム）の販売が好調に推移し、全体としては、前期に比べ、大きく売上を伸ばしました。

この結果、船用電子機器部門の売上高は、550億9千7百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

#### 新商品紹介



#### 魚体長計測可能魚群探知機「FCV-30」

次世代型カラー魚群探知機で、高精度な魚体長計測を実現する、漁船だけでなく調査船向けの優れた性能を備えています。

全方位動揺補正機能、ヒービング補正機能を有しているので荒れた海況でも安定した魚探映像が得られます。魚群の分布状況把握が容易であり、資源管理型漁業に最適な魚群探知機です。



#### HSCコード適用レーダー「FAR-2807シリーズ」

IMO（国際海事機構）の性能基準に合致した最新鋭ARPAレーダーで、最大100点もの他船追尾機能や、AIS（船舶自動識別装置）表示機能を有しています。映像表現力に優れ卓越した信号処理により物標探知をより確かなものとなりました。また、当シリーズは国土交通省のもと、高速船への搭載を可能とする我が国初の「HSCコード適用航海用レーダー」に合格しました。

\*HSCコード=SOLAS条約の代替規則

\*SOLAS条約=海上における人命の安全のための国際条約



### カラーGPSプロッタ魚探「GP-7000F」

プレジャーボート向けに高輝度・広視野角の7型ワイドカラーLCDを採用した最新鋭のカラーGPSプロッタ魚探です。直射日光下でも映像を確実に直視でき、どの角度からでも映像を見ることができます。また、高速CPU採用により画面切替がスムーズでストレスを感じさせません。防水完備なのでオープンブリッジにも搭載可能。中小型フィッシングボートやセーリングボートに求められていた性能・機能を備えた優れたものです。



### レーダープロッタ「MODEL1933CR」

「むつごろうレーダー」の愛称で呼ばれる本シリーズは4代目を迎えました。カラー液晶表示器を採用し、高速艇に最適な高速回転アンテナと近距離探知性能を備えました。最小レンジは125mで、特に近距離重視のレーダーとなっています。プロッタ機能を標準内蔵しましたのでGPS受信アンテナを接続するだけでレーダープロッタにアップグレードが可能です。

## 産業用電子機器部門

### 事業概況

ETC車載器において、国や道路公団による普及振興策の追い風を受け需要が急増し、OEMを主体に大幅に売上が増加しました。GPS関連では、携帯電話基地局向けの周波数発生装置やカーナビゲーション向けGPSコアなどが順調に売上を伸ばしました。また、医療用機器関連でも大型生化学分析装置を中心に国内外で大幅に売上を伸ばしたことなどにより、全体の売上は前期に比べ大きく増加しました。

その結果、産業用電子機器部門の売上高は、223億4千6百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

なお、医療用機器関連では、昨年8月に米国のベンチャー企業であるコンビメートリックス社とDNAマイクロアレイ合成装置の共同開発契約を締結いたしました。

### 新商品紹介



### 中型生化学分析装置「CA-400」

好評の小型生化学分析装置「CA-180」の上位機種として中型生化学分析装置「CA-400」を開発しました。本機は毎時400検体のテスト処理能力を持つと同時に、さらに軽量・卓上型にコンパクトに集約しました。販売はこの夏からで、ワールドワイドに展開し、今後5年間で2,100台の販売を目指しています。

## トピックス

### グッドデザインひょうご 産業ビジネス部門賞受賞



大型外航船用INS（総合航海システム）「VOYAGER」と大中型プレジャーボート用航海電子機器「NAVnet」がグッドデザイン認定を受け、特に「VOYAGER」は、産業ビジネス部門賞を受賞しました。「大型外航船用として、電子海図情報表示、自動衝突予防援助装置付レーダー、自動操舵機などを統合したシステムで、複雑な機能を少人数によるスムーズな操作を可能にしたデザインが優れており、操舵室環境の向上にも寄与する」という評価をいただいたことによるものです。

### 欧州物流センター開設



欧州顧客へのタイムリーな商品納入と製品在庫の適正化を目的とした欧州物流センターをオランダ（ロッテルダム近郊ズヴァインドレヒト市）に開設しました。すでに昨年11月から航海用大型レーダーを同センターに集中在庫し欧州各国の子会社や代理店向けに出荷を開始していますが、今後は全機種の取扱を目指します。なお、同センターをオランダに設置した理由は、同国が地理的に欧州のほぼ中心に位置し、物流の拠点の機能を有していること、主として船便貨物の最初の到着港であること、そして税制面での優位性などがあげられます。

## 新実験船「ペガサス」完成、就航



当社所有の実験船「スピリット・オブ・フルノ」に続く大型第2実験船「ペガサス」が完成・就航しました。この船は、米国製でカジキ釣りなどのスポーツフィッシング専用設計されたものを多目的仕様に改良を加えたものです。今後、高速で走行するプレジャーボート向けの商品開発に活用する予定であり、特にオートパイロット（自動操舵装置）やレーダー装置などのテストには不可欠なものと言えます。

また、実験船としてだけでなく、実際にカジキ釣り大会への出場艇としての活用も考えており、その活躍が期待されます。

## NMEA過去最多10部門受賞



NMEA（全米船用電子機器協会）の2004年度の総会が10月20～23日にかけて米国フロリダ州ネープルズにおいて開催され、当社は最優秀メーカー賞を受賞しました。

最終日の23日、各部門の投票が行われ、対象24部門中、過去最多の10部門での受賞となりました。1971年のNMEA最優秀賞〈魚探部門〉を受賞して以来、34年連続で受賞しています。世界中の船用電子機器ユーザーの信頼を得る上で、最高の栄誉と宣伝効果をもたらしていると考えています。

## 連結決算の概況

### 連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	第53期	第54期	科目	第53期	第54期
	(平成16年2月29日現在)	(平成17年2月28日現在)		(平成16年2月29日現在)	(平成17年2月28日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>57,501</b>	<b>60,617</b>	<b>流動負債</b>	<b>30,562</b>	<b>32,557</b>
現金及び預金	15,848	14,693	支払手形及び買掛金	12,457	17,001
受取手形及び売掛金	20,181	21,655	短期借入金	8,377	6,633
有価証券	41	999	1年以内返済予定長期借入金	3,096	1,891
たな卸資産	18,261	19,202	その他	6,631	7,032
繰延税金資産	1,884	2,524			
その他	1,528	1,776	<b>固定負債</b>	<b>15,993</b>	<b>14,812</b>
貸倒引当金	△ 245	△ 234	社債	1,318	1,054
<b>固定資産</b>	<b>17,935</b>	<b>19,232</b>	長期借入金	5,361	3,745
<b>有形固定資産</b>	<b>9,241</b>	<b>9,458</b>	退職給付引当金	7,945	8,535
建物及び構築物	4,191	4,202	役員退職慰労引当金	688	779
土地	3,233	3,225	繰延税金負債	86	93
その他	1,815	2,030	その他	594	605
<b>無形固定資産</b>	<b>633</b>	<b>629</b>	<b>負債合計</b>	<b>46,556</b>	<b>47,370</b>
ソフトウェア	367	379	少数株主持分	387	424
その他	265	250			
<b>投資その他の資産</b>	<b>8,059</b>	<b>9,144</b>	<b>(資本の部)</b>		
投資有価証券	2,469	2,995	資本金	7,534	7,534
長期貸付金	69	51	資本剰余金	10,073	10,073
繰延税金資産	2,495	3,032	利益剰余金	11,397	14,609
その他	3,555	3,493	その他有価証券評価差額金	497	703
貸倒引当金	△ 531	△ 428	為替換算調整勘定	△ 916	△ 742
<b>資産合計</b>	<b>75,436</b>	<b>79,849</b>	自己株式	△ 93	△ 123
			<b>資本合計</b>	<b>28,492</b>	<b>32,055</b>
			<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>75,436</b>	<b>79,849</b>

※金額の百万円未満は切り捨て表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第53期	第54期
	自平成15年3月1日 至平成16年2月29日	自平成16年3月1日 至平成17年2月28日
売上高	68,628	77,444
売上原価	43,487	51,381
売上総利益	25,141	26,062
販売費及び一般管理費	19,885	21,206
営業利益	5,255	4,856
営業外収益	633	769
受取利息及び配当金	153	225
その他	479	543
営業外費用	1,555	930
支払利息	250	186
手形売却損	43	19
売上債権売却損	38	28
その他	1,223	696
経常利益	4,332	4,695
特別利益	128	104
貸倒引当金戻入益	118	86
投資有価証券売却益	9	6
固定資産売却益	—	11
特別損失	118	5
投資有価証券評価損	3	1
投資有価証券売却損	60	—
その他	53	4
税金等調整前当期純利益	4,342	4,794
法人税、住民税及び事業税	1,946	2,427
法人税等調整額	△1,089	△1,322
少数株主利益	110	77
当期純利益	3,374	3,612

※金額の百万円未満は切り捨て表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第53期	第54期
	自平成15年3月1日 至平成16年2月29日	自平成16年3月1日 至平成17年2月28日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,342	4,794
減価償却費	1,141	1,313
貸倒引当金の減少額	△43	△114
退職給付引当金の増加額	525	590
役員退職慰労引当金の増減額	△1,024	90
受取利息及び受取配当金	△153	△225
支払利息	250	186
固定資産売却損	41	53
投資有価証券評価損	3	1
売上債権の増加額	△730	△1,488
たな卸資産の増減額	131	△925
仕入債務の増加額	861	4,636
役員賞与の支払額	△78	△83
その他	611	△22
小計	5,877	8,807
利息及び配当金の受取額	147	227
利息の支払額	△249	△197
法人税等の支払額	△947	△2,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,828	6,334
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△874	△1,188
定期預金の払戻による収入	171	1,128
投資有価証券の取得による支出	△351	△186
投資有価証券の売却による収入	653	12
有形固定資産の取得による支出	△1,241	△1,420
有形固定資産の売却による収入	65	102
無形固定資産の取得による支出	△215	△106
その他投資にかかる支出	△483	△630
その他投資の回収による収入	557	564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,718	△1,725
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額	△463	△1,779
長期借入による収入	1,600	301
長期借入金の返済による支出	△4,388	△3,121
社債の発行による収入	1,450	—
社債の償還による支出	△132	△264
自己株式の取得による支出	△11	△29
配当金の支払額	△237	△316
少数株主への配当金の支払額	△34	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,217	△5,273
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△245	73
現金及び現金同等物の増減額	646	△592
現金及び現金同等物の期首残高	14,135	15,026
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	244	—
現金及び現金同等物の期末残高	15,026	14,434

※金額の百万円未満は切り捨て表示しております。

## 単独決算の概況

### 単独貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第53期 (平成16年2月29日現在)	第54期 (平成17年2月28日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>36,999</b>	<b>41,065</b>
現金及び預金	9,297	7,006
受取手形	2,438	3,353
売掛金	11,333	13,692
有価証券	—	999
たな卸資産	9,677	12,184
繰延税金資産	951	1,109
貸付金	2,269	1,319
その他	1,055	1,401
貸倒引当金	△ 22	△ 3
<b>固定資産</b>	<b>17,447</b>	<b>18,172</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>6,202</b>	<b>6,461</b>
建物	2,262	2,340
機械及び装置	292	308
工具・器具及び備品	890	1,007
土地	2,652	2,644
その他	104	161
<b>無形固定資産</b>	<b>342</b>	<b>358</b>
ソフトウェア	281	300
その他	60	57
<b>投資その他の資産</b>	<b>10,902</b>	<b>11,352</b>
投資有価証券	2,119	2,508
関係会社株式	2,558	2,588
長期貸付金	1,293	824
繰延税金資産	2,291	2,814
差入保証金	401	343
団体生命保険払込金	1,686	1,632
その他	919	944
貸倒引当金	△ 368	△ 305
<b>資産合計</b>	<b>54,447</b>	<b>59,237</b>

※金額の百万円未満は切り捨て表示しております。

科目	第53期 (平成16年2月29日現在)	第54期 (平成17年2月28日現在)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>18,967</b>	<b>23,191</b>
支払手形	3,344	3,659
買掛金	7,538	12,197
1年以内返済予定長期借入金	3,031	1,740
賞与引当金	1,030	1,070
その他	4,022	4,523
<b>固定負債</b>	<b>13,896</b>	<b>12,810</b>
社債	1,318	1,054
長期借入金	4,240	2,775
退職給付引当金	7,726	8,303
役員退職慰労引当金	551	610
その他	60	67
<b>負債合計</b>	<b>32,863</b>	<b>36,001</b>
<b>(資本の部)</b>		
<b>資本金</b>	<b>7,534</b>	<b>7,534</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>10,073</b>	<b>10,073</b>
資本準備金	10,073	10,073
<b>利益剰余金</b>	<b>3,599</b>	<b>5,087</b>
利益準備金	617	617
任意積立金	1,690	2,390
当期末処分利益	1,291	2,079
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>469</b>	<b>664</b>
<b>自己株式</b>	<b>△ 93</b>	<b>△ 123</b>
<b>資本合計</b>	<b>21,583</b>	<b>23,236</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>54,447</b>	<b>59,237</b>

### 単独損益計算書

(単位:百万円)

科目	第53期 自平成15年3月1日 至平成16年2月29日	第54期 自平成16年3月1日 至平成17年2月28日
<b>経常損益の部</b>		
<b>営業損益の部</b>		
売上高	53,929	61,429
売上原価	39,741	45,961
売上総利益	14,188	15,468
販売費及び一般管理費	12,073	13,016
営業利益	2,114	2,451
<b>営業外損益の部</b>		
営業外収益	814	892
受取利息及び配当金	361	400
その他	452	492
営業外費用	922	696
支払利息	149	93
手形売却損	43	19
売上債権売却損	38	28
その他	691	554
<b>経常利益</b>	<b>2,006</b>	<b>2,647</b>
<b>特別損益の部</b>		
特別利益	85	78
貸倒引当金戻入益	68	66
固定資産売却益	12	11
投資有価証券売却益	4	—
特別損失	97	—
投資有価証券売却損	60	—
投資有価証券評価損	3	—
その他	33	—
<b>税引前当期純利益</b>	<b>1,994</b>	<b>2,726</b>
法人税、住民税及び事業税	1,145	1,676
法人税等調整額	△ 397	△ 814
<b>当期純利益</b>	<b>1,246</b>	<b>1,864</b>
<b>前期繰越利益</b>	<b>171</b>	<b>373</b>
<b>中間配当額</b>	<b>126</b>	<b>158</b>
<b>当期末処分利益</b>	<b>1,291</b>	<b>2,079</b>

※金額の百万円未満は切り捨て表示しております。

## 株式の概況

### 株式状況

(平成17年2月28日現在)

会社が発行する株式の総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,894,554株
株主数	3,706名

### 所有株式数別

区 分	株主数	比 率	所有株式数	比 率
5,000,000 株以上	1名	0.0%	5,078,581株	15.9%
1,000,000 株以上	4	0.1	4,445,000	13.9
500,000 株以上	5	0.1	3,550,250	11.1
100,000 株以上	39	1.1	9,116,801	28.7
50,000 株以上	22	0.6	1,509,914	4.7
10,000 株以上	144	3.9	2,624,852	8.2
5,000 株以上	248	6.7	1,520,767	4.8
1,000 株以上	2,404	64.9	3,776,841	11.8
1,000 株未満	839	22.6	271,548	0.9
合 計	3,706	100.0	31,894,554	100.0

### 大株主の状況

(平成17年2月28日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持ち株比率(%)
1 古野興産株式会社	5,078	15.9
2 古野清孝	1,383	4.3
3 古野清賢	1,036	3.2
4 古野電気取引先持株会	1,026	3.2
5 第一生命保険相互会社	1,000	3.1
6 みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託	942	2.9
7 株式会社あおぞら銀行	744	2.3
8 モルガン・スタンレー・ア ンド・カンパニー・インター ナショナル・リミテッド	678	2.1
9 株式会社東京三菱銀行	626	1.9
10 エコー興産有限会社	560	1.7

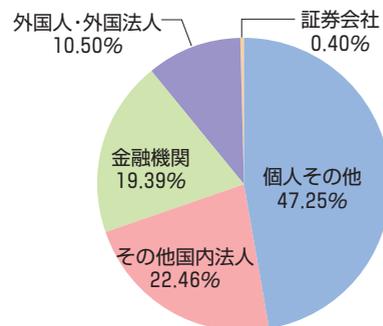
(注) 1. 株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持ち株比率は、小数点2位以下を切り捨てて表示しております。

### 所有者別分布状況 (発行済み株式総数に対する割合)

(平成17年2月28日現在)

	(株)	(%)
個人その他	15,069,914	47.25
その他国内法人	7,164,925	22.46
金融機関	6,185,561	19.39
外国人・外国法人	3,348,000	10.50
証券会社	126,154	0.40
計	31,894,554	100.00

※個人その他には自己名義株式303,927株(0.95%)を含みます。



## 役員

### 役員構成

(平成17年5月26日現在)

代表取締役社長	古野清之
代表取締役副社長	木谷賀勇
専務取締役	古野幸男
常務取締役	谷垣英敏
常務取締役	飯野博司
常務取締役	森博行
取締役	小林規男
取締役	青山繁之
取締役	小池宗之
監査役(常勤)	鶴崎公二
監査役(常勤)	井上義一
監査役	家近正直

## 株主メモ

決算期	毎年2月末日	同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
定時株主総会	毎年5月下旬		みずほインベスターズ証券株式会社
配当金支払基準日	毎年2月末日と8月末日		本店および全国各支店
名義書換代理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	公告掲載新聞	日本経済新聞
		上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第一部
1単元の株式の数	1,000株		
郵便物送付先	〒135-8722		
電話お問い合わせ先	東京都江東区佐賀1丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03-3642-4004(大代表) 0120-288-324(フリーダイヤル)		

## 会社概要

(平成17年2月28日現在)

社名	古野電気株式会社	設立	昭和26年5月23日
所在地(本社)	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号 電話 0798-65-2111(代表)	資本金	7,534,542,650円
		従業員数	1,967名(連結) 1,245名(単体)
(東京支社)	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2番地6 神田和泉町亜細亜ビル 電話 03-5687-0411(代表)	ホームページ	<a href="http://www.furuno.co.jp/">http://www.furuno.co.jp/</a>

## 事業所

本社	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号	電話 0798-65-2111(代表)
支社	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2番地6 神田和泉町亜細亜ビル	電話 03-5687-0411(代表)
工場	〒673-0443 三木市別所町巴1番地	電話 0794-82-9211
フルノINTセンター	〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜2丁目20番	電話 0798-33-7500

国内販売拠点 東京・広島・銚子・焼津・フルノ九州販売(株)(長崎・奈良・五島・佐世保・福岡・対馬・下関・萩・宮崎・延岡・大分・鹿児島・沖縄・阿久根)・フルノ関西販売(株)(伊勢・名古屋・神戸・田辺・徳島・金沢・小木・境港・香住・高知・宇和島)・フルノ北日本販売(株)(札幌・稚内・枝幸・釧路・根室・石巻・気仙沼・宮古・塩釜・八戸・函館)

海外駐在所 アメリカ・デンマーク・フィンランド・ギリシャ・オランダ・スペイン・シンガポール・中国